

# 一般社団法人 電動車両用電力供給システム協議会（EVPOSSA）

## 2026 年度事業計画書

2026 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

### 1. まえがき

近年、世界規模で進む脱炭素化の潮流は、社会構造や産業基盤に大きな変革をもたらしています。とりわけ自動車産業においては、電動車両（BEV・PHEV 等）の普及が急速に進み、エネルギー供給の在り方そのものが再定義されつつあります。日本においても、2050 年カーボンニュートラル（※）の実現を国家目標として掲げ、交通・エネルギー分野の統合的な変革が進められております。

電動車両の普及においては、電動車両自体の技術革新に加え、充電インフラの整備、電力供給の安定性、標準化された通信プロトコル、地域エネルギーマネジメントとの連携、そして利用者にとっての利便性向上など、多岐にわたる課題の解決が不可欠となっております。これらの課題を解決するために、産官学がこれまで以上に連携し、共通ルールに基づいた基盤構築を進めることが重要となります。

EVPOSSA は、電動車両社会の実現に向け組織化された団体であり、電動車両の普及を支える電力供給システムの標準化、相互運用性の確保、技術開発の促進、そして安全で持続可能なエネルギー社会の実現を使命としております。幸いにも、EVPOSSA に参画する企業・団体は、充電器メーカー、電子機器メーカー、自動車関連メーカー、施工・メンテナンス事業者、IT・ネットワーク関連企業、試験・認証機関など多岐にわたり、それぞれが持つ知見と技術を結集することで、社会全体の利益につながる新たな価値創造を具現化できる組織構成となっております。

本事業計画書は、EVPOSSA が今後取り組むべき重点施策を明確にし、電動車両用電力供給システムの高度化と普及促進に向けた道筋を示すものです。電動車両が単なる移動手段にとどまらず、エネルギーを「使う」だけでなく「蓄え」「供給する」社会インフラとして機能する未来を実現するために、普及促進に向けた活動と技術課題の検討・協議の活動を精力的に進め、関係省庁及び関係団体のご指導とご支援をいただきながら、会員の皆様とともに安全・安心な普通充電器・充放電器の普及拡大に向けた活動を引き続き積極的かつ精力的に取り組んでまいります。

※日本のカーボンニュートラル目標の位置づけ

パリ協定に基づく長期戦略の中心で、2050 年までに排出量を実質ゼロにすると、2020 年 10 月の所信表明演説で正式に宣言されている。

中間目標として、2030 年度は 2013 年度比 46%削減（50%に向け挑戦）、2035 年度は同 60%削減、2040 年度は同 73%削減が示されている。

### 2. EVPOSSA の活動

#### 2. 1 当協議会のビジョン

EVPOSSA の活動の更なる充実に向けて、電動車両用電力供給システムにかかる視点から次に掲げるビジョンを基本方針として具体的成果の得られる活動を行います。

- （1）移動したくなる社会づくり
- （2）コミュニケーションの活性化

- (3) 人にやさしい充電インフラの提供
- (4) 自然・災害に強い仕組みづくり

## **2. 2 部会の活動計画**

### **①技術課題検討部会**

« 活動内容 »

- (1) 電動自動車用充放電システムガイドライン、検定基準の改定
- (2) 他団体との連携による技術課題および解決策の検討
- (3) 発行済み技術資料の最新情報に即した内容への更新

### **②普及促進部会**

« 活動内容 »

- (1) 充電インフラ市場の拡大
- (2) ユーザーの利便性向上
- (3) 関係団体との連携
- (4) EVPOSSA の価値向上

以上